



自ら仲間とともに、たくましく生きる子

～ 考えいっぱい やさしさいっぱい 力いっぱい ～

子どもたち自身の力で、さらに楽しく、さらに誇りがもてる学校に

■全員にとって楽しい学校に「いじめについて考える日」

6月1日（月）の全校朝会の中で、「いじめについて考える日」と題して、全員にとって楽しい学校にできるように、校長から3つの話をしました。

○いじめは人の心を傷つける重大な行為。

いじめが起きると不安で学校が楽しくなくなることもあります。本人がとても苦しい思いをするだけでなく、家族も大変な心配をします。不安で苦しい思いを一人もすることがないように、いじめられる人はもちろん、いじめをしてしまう人も出さない学校にしていきたいと思います。

○いじめをなくすには、「相手は本当は嫌かも知れない」と想像すること（思いやり）が大切です。

もしも①～⑤に当てはまると思うことがあったら、今からやめましょう。

- ①呼び捨てやあだ名 ②からかい・いじり ③うわさや悪口（ネット等、本人にわからない所でも同じ）
- ④仲間外れ ⑤自分は①～④をしないが、誰かがするのをとめなかったり、一緒に笑っていたりする

○いつでも、どの先生にでもそっと相談してください。

心配が早く解決するように、先生たちはすぐに取り組みます。

誰もが楽しく安心して生活できる学校にさらに近づくために、これからも「いじめについて考える日」として立ち止まって考える場を設けていきます。



■保護者・地域の皆様のご協力、ありがとうございます

毎朝、本校北側の横断歩道では、保護者の方が交代で立たれ、交通安全指導をいただいています。強い日差しや雨の日も、子どもたちの安全を守っていただいています。

また先日6月14日（水）は、2年生の校外学習に3名の保護者の方が引率についていただき、子どもたちの学習を支えていただきました。6月21日（月）と28日（月）には、読み聞かせボランティア「ぼらぼら」の皆さんに本の魅力に触れる機会をつくっていただきました。



依然としてコロナ感染対策が必要な中、教育活動の幅は狭められがちです。しかし、こうした皆様に支えられているおかげで、子どもたちは安全に生活し、学習を深めたり興味関心を高めたりする場が増えていきます。本当に感謝申し上げます。今後ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。